

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.31(2025. 5 月)

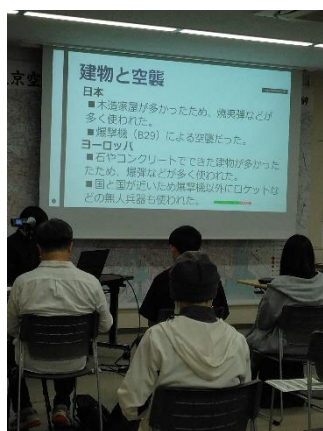
社会科同好会編②「東京大空襲・戦災資料センター見学②」

2025年5月11日(日)、「東京大空襲・戦災資料センター」にて開催された、平和学習発表会に、生徒3名、社会科教員2名が参加しました。館内の展示資料を見学後、「一人の体験者の視点から東京大空襲を追体験する」というセンターのプログラムに参加した岩倉高校による実践報告を聞きました。今年度もセンターは高校生向けのプログラム参加者を募集するそうです。

◆東京と日本の空襲、そして現在◆(資料館パンフレットより)

アジア・太平洋戦争の末期、1945年3月10日、2時間余りの空襲によって、東京の下町一帯は焼け野原となり、約10万人もの人びとが犠牲になりました。アメリカ軍による無差別爆撃でした。

戦争中、東京はおおよそ100回の空襲を受けましたが、その一方で日本も満州事変以降は中国などへの空襲を行っていました。空襲のなかで多くの人びとが家財を焼かれ、傷つき、命を失いました。多くは、女性、子ども、高齢者などの民間人でした。世界に目を向ければ、今も空襲は続いています。



以下、参加した生徒の感想を紹介します。

◆岩倉高校の人たちの発表を見てまずスライドが完璧すぎて驚いた。自分だったらあんなに喋れないし質問にも完璧に答えることはできないだろうなって思った。実際に発表を聞いて過去の分科会で聞いた時も他校はそうだったけどテーマを決めてそれについて調べたりFWしたりするって聞いて鷺宮の社会科同好会とは少し違うけど同じような部活でもいろんな活動があることが面白いと思った。2人の発表では特に太田さんの広島原爆と東京の空襲で認知度に差があるってことを言っていて本当にそうだなって思った。自分的には広島は原爆ドームとかしっかり形に残っていて未来に語り継いでいるイメージだけど、東京は開発が進んでいることも関係しているかもしれないけど跡地とか空襲を伝える場所が少ないイメージがある。だからこそ自分から学ぶ必要があると思った。それと戦争体験者の方が少なくなっている中で減っていつてしまうことは避けられないことだとおもうけど風化させることは絶対だめだと思うし、未来の子どもたちのためにとって言っていたように自分たちも活動できたらなって思った。戦災資料センターは見てリアルな写真とかあってびっくりするけど見れば見るほど平和を願うようになりますね。

◆東京大空襲・戦災資料センターでの、岩倉高校の発表を聞きました。内容は東京とロンドンで行われた空襲の違いや戦時中の教育体制についてです。自分も岩倉高校のような、報告資料が分かりやすい発表を作りたいです。当時の被害の規模を視覚的に理解することができました。当時の焼け跡の写真・地図、焼失区域が色分けされた地図や空襲直後の写真から、空襲は、『兵士ではなく市民』を狙っていたことが衝撃的でした。また、遺品、日用品の中で、焼け焦げた手紙、当時の服から生活の痕跡がリアルに伝わりました。今年は戦後80年の節目にあたります。これらのことから歴史を知るだけでなく、『平和とは何か』を改めて考えていきたいです。

◆戦災資料センターで、戦争に使われた兵器や、ロンドンと東京で行われた空襲の違いなどについて発表がありました。戦争の細部まで詳しく知り、戦争の悲惨さを改めて理解しました。今の日本のような、戦争のない平和な世界がいつまでも続いてほしいと思いました。



語り部の二瓶治代さん
も参加されました

